

秋田赤十字乳児院へ農産物などを贈呈

11月21日(水)、秋田赤十字乳児院へあきたこまち200キロとリンゴ20キロ、クッキー30袋を贈呈しました。乳幼児への育成支援の一環で2014年から行っており、今回で5回目になります。同日に行われた贈呈式には、1歳から3歳の子どもたちをはじめ、当J Aの役員や女性部員など25名が参加しました。当J Aの佐々木早苗理事は子どもたちに「たくさんご飯を食べて、健康に過ごしてください」と呼び掛けました。米を受け取った子どもたちは、笑顔で米袋を抱えたり部屋中を運んで歩いたりしていました。リンゴを受け取った子どもも、その場でリンゴにかじりつく様子も見られました。



あきたこまちを受け取る子どもたち

北陽小学校収穫感謝祭

12月6日(木)、男鹿市立北陽小学校で収穫感謝祭が開催されました。5年生10名が、学習田で収穫されたあきたこまちを使って、だまこ鍋を作り、学習田に協力した地元農家の方々に振る舞いました。児童がそれぞれ米に関する物事を調べた発表や、歌の披露も行われました。児童は保護者や同級生と協力してだまこ鍋を作り、招待された地元農家の方々と触れ合いながら新米の味を楽しみました。だまこ鍋を味わったあとは、世界各国の米料理や稲の歴史など、米についてそれぞれが気になった事柄を画用紙にまとめて発表しました。米の収穫面積や農家数について調べた児童の発表に、農家の方々が感心する様子も見られました。



協力してだまこ鍋を作る児童

NEWS & TOPICS

上北手小学校豆腐作り体験

12月4日(火)と7日(金)、秋田市立上北手小学校で豆腐作り体験の授業が行われました。児童は女性部員や同級生と協力して、大豆「リュウホウ」から手作りの豆腐を作りあげました。参加した3年生は、ミキサーでペースト状にした大豆が入った鍋をかき混ぜながら「おいしい匂いがする」と笑顔を見せました。「早く食べたい」と話した児童は、豆腐の型箱を力強く押していました。できあがった豆腐は、醤油や塩をかけて味わいました。児童は手作りの豆腐には醤油と塩のどちらが合うのかを話し、盛り上がっている様子でした。



豆腐の温度を見る児童

和梨実績検討会

12月13日(木)、天王支店で和梨共販実績検討会が行われました。生産者や関係者約30名が参加し、今年度の生育や販売実績についての報告が行われました。

検討会では、生育状況や各品種の販売・選果状況を振り返りました。また、今年度における販売の実績報告が行われ、今年度の販売金額が1億4957万円、出荷量が5万2754ケース、1ケース当たりの単価が2835円となった旨が報告されました。そのほかには、気象災害への対策や出荷市場間の価格差、晩生種の出荷方法なども話題に上がりました。



今年度の和梨について振り返りました